

東京の高等学校とのオンライン合同授業

<第1学年 国語総合（現代文）「短歌と俳句」>

【目的】 ICTを活用して遠く離れた地域の高校生とグループワークを行い、異なる価値観に触れ、自らの視野を広げるとともに考えを深める。

【内容】 両校（本校、上野学園高等学校）の教科書で共通する俳句を2句選び、その内容を深く理解するための「質問づくり」を実施した。Zoomのブレイクアウトルームを使って、両校混合グループ（6人グループ×12班）を作り、話し合いを行った。

【生徒の感想】

- ・ 普段あまり関わることのない人たちと授業ができて、新鮮でとても楽しかったです。自分たちとは違った環境の分、考え方や思うことが少し違って、「こんな考え方があるんだな」という新しい発見ができました。
- ・ 地域が違えば考え方も違うのかなと思っていたけど、意外と同じ考えをしている時もあるんだなと感じることができました。普段、同じ学校の子以外と意見を交わすことがないので違う学校の子と意見を出し合えるのは、とても貴重だなと感じました。

ICT活用のポイント

- ・ この授業を通して生徒に身につけさせたい力を明確にした上で交流する。
- ・ いきなり授業で交流するのではなく、昼休みを使ってアイスブレイクの交流を複数回行った。
- ・ ハウリング防止のためにイヤホンが必要。
- ・ 複数の教室に分散して行くと通信がスムーズ。

授業風景（画像）
オンライン上でグループワーク



授業風景（動画：約15秒）
オンライン上で東京の生徒と本校生徒に同時に説明
（宇野の説明を東京で録画した映像）



ブックトークの資料作成

アプリ名 ロイロノート、PowerPoint

〈第2学年「現代文B」〉

【目的】PREP法に基づく短時間(1~2分)のプレゼンテーションを実施し、効果的に聞き手へ自身の考えを伝える。

また、聞き手はQ&Aを通じて考えの言語化と視野の拡大を図る。

【内容】発表者は事前に紹介する本のスライド資料を作成し提出しておく。授業の初めに発表し、教師の指名によって2名程度による質疑応答を行う。

【生徒の感想】

表紙や発表テーマが見えるので、質問もしやすいし、実際に私も読んでみたい本が増えた。クラスの友達も本を読んでいることを知り、読書への抵抗感がなくなってきた。

ICT活用のポイント

- ・発表用テンプレートを事前配布することで資料の作成が統一できる。
- ・ICT活用の目的は見える化と資料の保存、共有であることを説明する。



発表風景

授業ハテナの検討・考察発表・共有

アプリ名 ロイロノート、PowerPoint

第2学年「現代文B」「古典B」

【目的】協働学習を通じて自ら設定した課題の解決を図り、新たな知を創造することと、自らの考えを共有することで知の拡大と発展を狙う。

【内容】授業を通じて出てきた気になる点や知りたい点(ハテナ)を班別に検討させ、その考察を発表用スライドにまとめ、発表と同時にクラス全体に共有する。

【生徒の感想】

自分はこうだと思い込んでいた解答が、同じ班の人でも違う解釈が提示され、自分の価値観が揺さぶられた。発表後に、自分たちの解答に共感してもらったことが嬉しく、自信になった。

ICT活用のポイント

- ・資料の作成に向けて、どのような内容をどのように盛り込むのかを事前説明した。
- ・全体に資料の共有をかけることで、振り返りなどで理解の深まりが期待できる。



授業風景 (動画: 約10秒)

ミュージックビデオを読み解く - ミュージックビデオ 緑黄色社会『結証』 -

〈第1学年 国語総合（現代文）「メディア・リテラシー」〉

【目的】 ミュージックビデオという表現の形態に応じ、映像と歌詞から情報を読み取り、登場人物の心情を解釈することをねらう。

【内容】 緑黄色社会『結証』（ソニー・ミュージックレーベルズ、2021年）のミュージックビデオを視聴し、登場人物の心情を読み進めた。
ミュージックビデオを「登場人物の設定」「語り手」「歌詞」「映像」の観点から多角的に解釈し、それぞれの意見を共有した。

【生徒の感想】

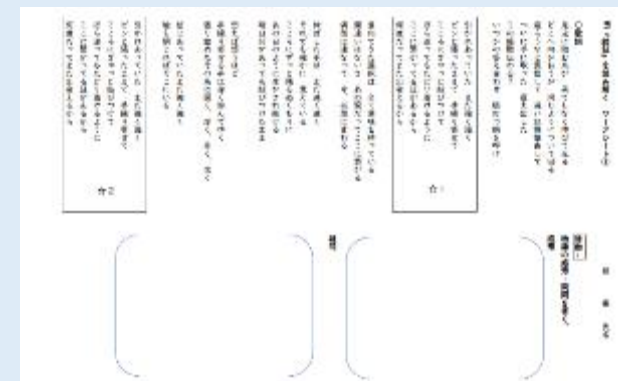
- ・すごく感動した。昔の思い出を思い返して学生時代にしてきたことをふり返っていてすてきだなと思った。今でも鮮明に昔のことを覚えている。男性の人がピアノを弾くことでストーリーが進んでいる。認知症でおばあさんに思い出してほしくて制服を着ているのかなと思う。良い曲でなにか守られているような感じだった。背中を押されているような感じだった。
- ・ミュージックビデオから作曲者や登場人物の物語について読み解いていくことも国語にとってすごく重要だと感じた。
- ・歌、そのものがおばあさんとおじいさんをつないでくれる大切な証なんだと思った。歌詞で表すことによって、伝わることもあるなと思った。おじいさんの表情や気持ちもわかりやすかった。

ICT活用のポイント

- ・あくまで国語科の力を養うことを目的として、様々なメディアを取り扱う。
- ・学習者にとって見やすい環境、聞きやすい環境（スクリーン、座席の位置、音響等）を準備する。
- ・継続的に取り組むことが出来るようにカリキュラムに取り入れる。



参考：ミュージックビデオ冒頭部
緑黄色社会『結証』（ソニー・ミュージックレーベルズ、2021年）



ワークシート例